

感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報

平成28年9月25日現在のHIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
<b>HIV感染者 合計</b>		14,630	932	15,562	1,599	1,437	3,036	16,229	2,369	18,598
	異性間の性的接触	2,882	763	3,645	434	845	1,279	3,316	1,608	4,924
	同性間の性的接触 <sup>*1</sup>	10,224	4	10,228	648	1	649	10,872	5	10,877
	静注薬物使用	41	2	43	27	3	30	68	5	73
	母子感染	18	9	27	5	8	13	23	17	40
	その他 <sup>*2</sup>	286	39	325	58	27	85	344	66	410
	不明	1,179	115	1,294	427	553	980	1,606	668	2,274
<b>エイズ患者 合計<sup>*3</sup></b>		6,717	374	7,091	894	398	1,292	7,611	772	8,383
	異性間の性的接触	2,130	249	2,379	302	219	521	2,432	468	2,900
	同性間の性的接触 <sup>*1</sup>	3,209	3	3,212	165	2	167	3,374	5	3,379
	静注薬物使用	28	4	32	26	3	29	54	7	61
	母子感染	9	3	12	1	5	6	10	8	18
	その他 <sup>*2</sup>	170	23	193	27	15	42	197	38	235
	不明	1,171	92	1,263	373	154	527	1,544	246	1,790
<b>HIV感染者+エイズ患者 合計</b>		21,347	1,306	22,653	2,493	1,835	4,328	23,840	3,141	26,981
<b>凝固因子製剤による感染者<sup>*4</sup></b>		1,421	18	1,439	—	—	—	1,421	18	1,439

\*1 両性間性的接触を含む。

\*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

\*3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。

\*4 「血液凝固異常症全国調査」による2015年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

※死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数（平成11年4月1日～平成28年9月30日）	371名
エイズ予防法 <sup>*5</sup> に基づく法定報告数（平成元年2月17日～平成11年3月31日）	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 <sup>*6</sup>	706名

\*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

\*6 「血液凝固異常症全国調査」による2015年5月31日現在の報告数